

**平成24年度 事務事業評価シート**

事業の概要	事務事業名	史跡小牧山整備事業						担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系	担当課	文化振興課				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	文化財係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		21 歴史・文化財		5 小牧山の整備を進める					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	6	大	4	中	2	
	根拠法令・個別計画	史跡小牧山整備構想・文化振興ビジョン										
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	64 %			委託	36 %			助成	0 %	
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	貴重な歴史遺産を調査し、基礎資料を作成、後世に残すための整備をおこなう。										
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容 史跡小牧山整備計画基本構想に基づき、保護と活用のバランスのとれた整備を進めるとともに、発掘調査を実施して整備のための基礎資料を収集した。 発掘調査は職員が中心となり、アルバイト作業員を指揮して調査、記録、保存を実施。この他発掘調査現地説明会、策定会議の実施や補助金の申請業務等各種所手続きをおこなう。</p> <p>発掘調査（主郭地区第4次 400㎡） 【委託業務内容】 発掘調査ビデオ記録撮影委託(364千円) ・発掘調査内容及び遺構のビデオ記録撮影 発掘調査三次元計測及び石垣石材調査委託(5,250千円) ・石垣石材カルテ(石垣を構成している石の詳細な記録)の作成 史跡小牧山整備調査研究(3,258千円) ・市役所本庁舎跡地整備基本計画策定 ・整備に関する調査、資料収集</p> <p>○平成24年度実施内容 【委託業務内容】 本庁舎跡地整備実施設計委託 バス専用駐車場整備測量設計委託 発掘調査三次元計測及び石垣石材調査委託</p>										
受益者負担	無											

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	5,662	14,263	13,752	54,523	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.70	0.70	0.70
			人件費	千円	1,063	3,723	3,723	3,723
		その他職員	従事者数	人	23.00	20.00	23.00	30.00
			人件費	千円	4,741	6,408	6,881	8,945
		費用合計		千円	11,466	24,394	24,356	67,191
	対前年比		%		212.7	99.8	275.8	
財源	一般財源	千円	8,966	19,034	17,559	54,801		
	国・県支出金	千円	2,500	5,360	6,797	12,390		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	発掘調査		㎡	目標	300	300	400
実績				300	210	400	
発掘調査現地説明会		回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	記録保存	㎡	目標	300	300	400	460
実績			300	210	400		
発掘調査現地説明会参加者		人	目標	—	—	—	—
			実績	220	650	400	

事業の自己評価	事業の達成状況	昨年度に引き続き、主郭(天主周辺部)の発掘調査を実施して、織田信長が城を築いた石垣が良好な状態で残っていることが確認されるなど、今後の整備に向けて基礎資料収集をすることができた。また、整備について感心を高めていただくために、発掘調査の現地説明会を実施した。
	事業実施における課題等	織田信長の築城に見られるような史跡小牧山の歴史的価値が、まだ広く周知されていない。
	事業を縮小・廃止したときの影響	郷土の誇りとなるべき小牧山の歴史的価値を高めることができない。
今後の事業の方向性	方向性の判定	拡充
	判定理由	史跡小牧山の発掘調査が進み、永禄・天正期の小牧山の姿が明らかになりつつあり、今後は歴史館周辺の石垣の整備や本庁舎跡地地区の整備を行い、史跡小牧山を本来の姿に戻すことで歴史的価値を高めていくため。
	改善案等	引き続き発掘調査を進め、遺構の解明に努めるとともに、情報を積極的に発信して整備について理解を求め、関心を高めてもらう。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	発掘作業が終了後、26年度に整備計画を策定予定のため、現状維持とする。